ステップアップ 図面の読み方

応用編 Level 00 STEP2

～設計、加工、計測部門と会話するための図面の読み方～

図面の基礎知識は持っているが、設計や加工、検査の知識を引き上げたい方にお勧めのコース

当講座では、基礎的な投影図の見方や寸法補助記号から、もう一歩踏み込んで図面に記載されている専門性の高いキーワードの意味を知り学習することで、図面の意図をより精密に理解し、関連部門と技術的な会話ができる能力を身につけることができます。

講座内容(予定)

1,図面から製品化までの流れを知る
【1】図面の関わる関連部門の関係
【2】実力診断テスト(○×クイズによる現状知識の確認)

2,図面を見て会話するときのキーワード(材料編)
【1】代表的な金属材料の特徴を知る
【2】代表的な表面処理(めっきや熱処理)の特徴を知る

3,図形を見て会話するときのキーワード(加工編)
【1】切削加工、研削加工、特殊加工(放電加工など)の理屈を知る
【2】図面に用いるツールや工程の名称を知る
【3】 演習問題:図面から加工法を推測する

4,図面に関わる人なら知っておきたい幾何公差の知識
【1】代表的な幾何公差の記号と解釈を知る
【2】データムと各種特性の記号と意味
【3】演習問題:幾何公差の公差領域を記入する

5,図面に関わる人なら知っておきたい溶接記号の知識
【1】代表的な溶接記号を知る
【2】演習問題演習問題:溶接記号を見て溶接形状を記入する

6,図面に関わる人なら知っておきたい板金、樹脂成形の知識
【1】板金、樹脂成形のキーワードを知る

7,まとめ
【1】実力診断テスト:○×クイズによる習得知識の確認
【2】質疑応答



副読本として、講師著書の【図面って、どない読むねん！LEVEL 00 第2版―現場設計者が教える図面を読みとるテクニック―】(日刊工業新聞社)を使用します。※本書は参加費に含まれています。

主 な 対 象 者

- Level00の受講者
- 図面の基礎知識は持っているが、設計や加工、検査の担当者と会話ができる程度に知識を引き上げたい方
- 島根県内に事業所を有する企業の方

※受講決定後にキャンセルされる場合は、受講料を請求させていただき、講座で使用するテキスト類を送付いたします。予めご了承ください。

開催日

2026年
11月25日(水) 10:00～17:00
(受付9:30～)

会場 ※いずれも県内企業優先

メイン会場
テクノアークしまね 大会議室 定員 30名
(松江市北陵町1番地)

サテライト会場
いわみぷらっと 会議室 定員 20名
(浜田市相生町1391-8)

※メイン会場での講義をライブ中継し、サテライト会場にてご覧いただきます。

受講料

3,300円(税込)/人
(講座終了後、請求書を郵送いたします。)

携行品

筆記用具(4色ボールペン推奨)、蛍光ペン
(フリーハンドで演習を解答します。)

講 師

藤崎 淳子 氏
Material工房・テクノフレキス 代表
独立行政法人長野職業能力開発促進センター松本訓練センター 講師
長野県南信工科短期大学校 非常勤講師

【略歴】
長野県上伊那郡在住の設計者。1980年代より、工作機械・工具販売商社、樹脂材料・加工品商社、プレス金型メーカー、基板実装メーカーなど数社におよぶ勤務経験を経てモノづくりの知識を深める。紆余(うよ)曲折の末、2006年にMaterial工房・テクノフレキスを開業。設計業者としては、主に電子部品製造メーカーの生産現場を支援する治具や機器の設計製作を請け負い、「一人ファブレス」として現場打ち合せ、設計、部品加工手配、組み立て、納品を一人でこなす。
一方では、「ママさん設計者シリーズ」と称したモノづくり初心者にやさしい技術コラムの執筆や、製造現場に向けた次世代モノづくり人材育成活動として、機械製図基礎講習、部品加工法基礎講習、3D設計ツールを活用した一気通貫モノづくり等の講習を行っている。

申込方法

◀◀ 申込みフォームはこちらから ≪申込締切≫2026年11月11日(水)17:00
https://www.joho-shimane.or.jp/purpose/human/11743

※裏面の申込書に必要事項を記載の上、Eメール又はFAXでもお申込みいただけます。
※受講の決定については、申込み締切り後の2営業日以内にメールにてご連絡いたします。
※申込みの際は、裏面もしくは申込みフォームに記載の【注記】を必ずご確認ください。

[主催](公財)しまね産業振興財団